クリンプカメラ　YS-01

端子圧着時の不良を、自動圧着機インラインで画像検査で検出します。

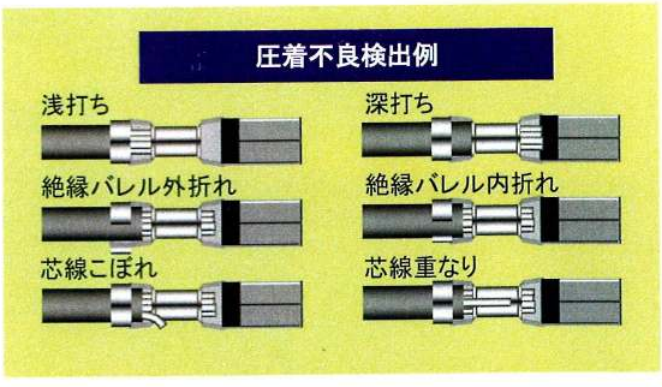
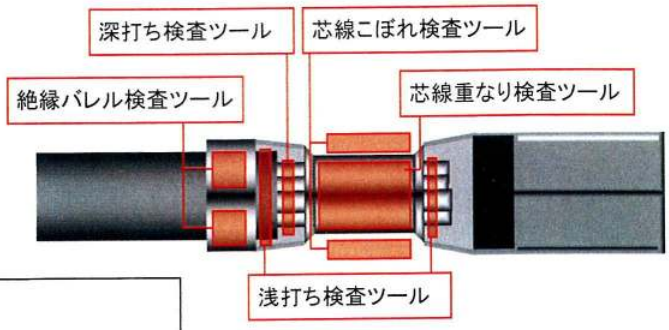
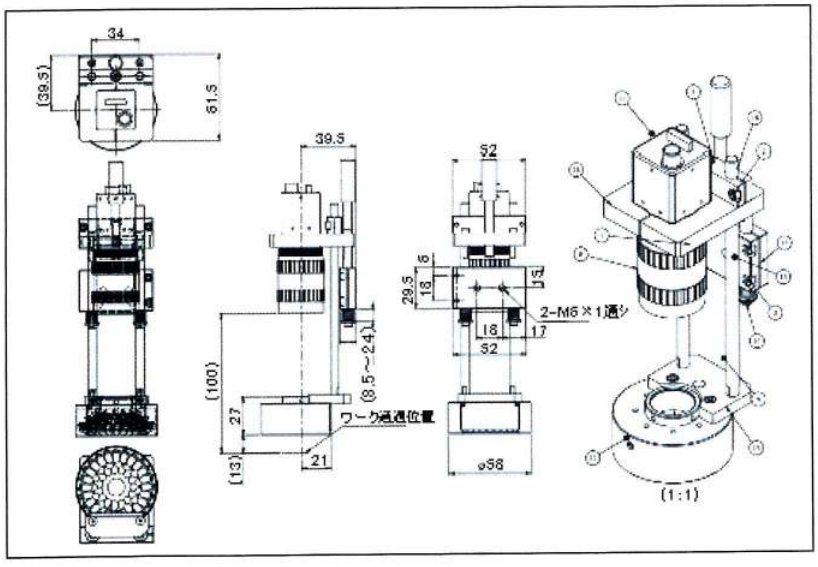
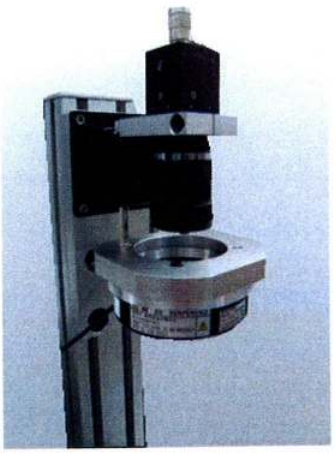
レーザーイメージセンサーで
ストリップミス・シールの挿入ミスを、
クリンプフォースモニターで
異常な負荷による圧着不良を検出。

更に完全な品質検査を目指し
人の目に代えてカメラを導入、
ノンストップで外観検査を素早く行います。

更に一歩、インライン品質管理の完全化
に近づきました。

運用の流れ

「良品」を基準画像として登録します。その上にあらかじめ各不良検出のための検査ツールを配置して公差を設定します。検査ツールの配置状態や、各ツールの公差は、PC からカメラに転送されます。

カメラの近くに通過センサーを設置し、生産時に製品がセンサーを通過したときの信号をトリガーとして、一定時間経過後に製品の画像を撮影します。
カメラは 2 台接続することもでき、異なる角度からの撮影で端子のローリング現象などにも高度に対応し、姿勢を制御します。
シャッタースピードは最大 1/80000 秒で、搬送中のサンプルを止めずに鮮明な画像を得られます。また、本体に LED ストロボ照明用電源を内蔵しています。

画像上の検査ツールの部分に、不良特有の画像パターンが現れたときに、「不良」と判定します。